

No.118	事業名	子どもの野生復帰事業	23年度 予算額	11,890 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

現在の子どもたちは、生活様式の変化などから自然とのふれあいが不足している。より多くの自然体験を行った子どもは、自立心や社会性が育まれ、正義感、道徳観が養われるといわれており、自然豊かな豊岡の地で野外活動や自然体験をすることにより、郷土を愛する心豊かな子どもの育成につながる。このため、23年度も「子どもの野生復帰大作戦」を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①キッズワイルド 2011（通年、委託実施）

ア. 委託先 竹野スノーケルセンター運営協議会

- イ. 委託内容
- ・子ども向けプラン（テーマに特化した通年型の3コース各70人募集）
「食べ物（食育）」「生き物（自然科学）」「探検交流（ふれあい）」
 - ・親子向けプラン（60組150人募集）
就学前の親子が自然体験を積み重ねて共に成長する。季節ごと実施
 - ・公開イベント「子どもの野生復帰まつり」の開催（10月16日）
 - ・事業実績報告書の作成

②野外キャンプ

市内で親子向け（1泊2日/100人）キャンプを実施

③FM ジングル番組放送等の普及・啓発活動

(2) 事業期間

平成18年4月～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

93,370千円

3 23年度予算

(1) 予算額

11,890千円

(2) 事業内容

①キッズワイルド 2011	11,242千円
②野外キャンプ	197千円
③普及・啓発活動等	451千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成18年度から3ヵ年「教育行動計画」の3つの大作戦として重点的に実施した。また、平成21年度から継続事業として実施している。

担当課名【生涯学習課】（内線 2745）

No.119	事業名	学校支援地域本部事業	23年度 予算額	3,617 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域住民による学校支援活動を活発化し、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備することによって、地域の教育力を高め、子どもたちの多様な体験活動や学習活動を可能とする。

また、関係団体との連携を強化して顔見知りを増やし、子どもにとって安全安心な地域づくりに寄与するとともに、子どもたちの社会性や自立心の育成に資することを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・ 教育委員会に地域コーディネーターを配置し、学校コーディネーターへの助言・指導、事業の広報活動、会議・研修会等の企画・実施を行う。
- ・ 希望する学校に学校コーディネーターを配置し、地域の学校支援ボランティアの発掘や学校との調整を行い、円滑な学校支援ボランティア活動の推進とボランティアの拡大を図る。
- ・ 学校コーディネーター連絡調整会議、事業担当教員研修会等を開催する。
- ・ 学校支援ボランティアによる学校支援活動に要する経費の一部を助成する。
- ・ 青少年健全育成、子どもと心でつながる市民運動、各地区公民館など地域で子どもの教育に関わる諸団体の連携強化のため、情報交換等を行うシンポジウムを開催する。

(2) 事業期間

平成 23 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 23 年度予算

(1) 予算額

3,617 千円

(2) 事業内容

- | | |
|------------------------------|----------|
| ・ 学校コーディネーター配置に係る経費 | 1,230 千円 |
| ・ 地域コーディネーター配置に係る経費 | 748 千円 |
| ・ 学校コーディネーター連絡調整会議、研修会等開催経費 | 215 千円 |
| ・ 学校支援ボランティアの支援活動に要する経費の一部助成 | 1,160 千円 |
| ・ シンポジウム開催経費 | 217 千円 |
| ・ 事務的経費 | 47 千円 |

担当課名【生涯学習課】(内線 2746)

No.120	事業名 地区公民館へのAED設置	23年度 予算額	1,525 千円	新規 拡大 継続
--------	------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地区公民館は地域のコミュニティの中心であり、子どもから高齢者まで多くの人が集い活動する施設である。

利用者の緊急時の対応を図るため自動対外式除細動器（AED）を備え付ける。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

地区公民館に5年リースによりAEDを設置・・・22館

※除く7館 既に設置済・・・国府・清滝
総合支所内の公民館・・・城崎・竹野・弘道・合橋
他の施設内・・・小野

(2) 事業期間

平成23年度～平成27年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

7,625千円

3 23年度予算

(1) 予算額

1,525千円

(2) 事業内容

AEDの借上げ 22台

No.121 事業名 植村直己冒険賞	23年度 予算額	5,439 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日本を代表する世界的な冒険家である故植村直己氏の精神を継承し、周到に用意された計画に基づき、不撓不屈の精神によって未知の世界を切り拓くとともに、人々に夢と希望そして勇気を与えてくれた創造的な行動（業績）について1人（1グループ）を選考し表彰する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・「植村直己冒険賞」の選考
- ・「植村直己冒険賞」受賞者記者発表
- ・「植村直己冒険賞」表彰式の実施
- ・受賞者交流事業

(2) 事業期間

平成23年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

5,439千円

(2) 事業内容

2010「植村直己冒険賞」表彰式及び講演会 6月上旬

2011「植村直己冒険賞」の選考 9月～2月初旬

2011「植村直己冒険賞」受賞者記者発表 2月16日（木）

冒険賞受賞者が学校等に出向く交流事業（ミニ講演等）10月～11月

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

記者発表会場 東京会場（明治大学）と豊岡会場（府中小学校）

植村直己冒険館事業費（別科目）の中で、受賞者を紹介する特別展を開催する。

No.122	事業名 日本冒険フォーラムの開催	23年度 予算額	6,506 千円	新規 拡大 継続
--------	------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

冒険者のチャレンジ精神を称え、日本の冒険文化を考える機会を創出する全国のチャレンジャー及びその関係者が一同に集うフォーラムを開催し、植村直己顕彰事業のステップアップを図ると共に、元気な豊岡市を全国にPRする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・テーマ 「冒険の伝説・未来～こんな日本人がいた そして 今もいる～」
- ・会 場 明治大学
- ・内 容 基調講演、パネルディスカッションほか
- ・展 示 会場周辺に、豊岡市の紹介、チャレンジャー紹介、植村紹介の展示を行う。
- ・交流会 フォーラム終了後関係者の代表約 200 名を招待する交流会を開催し、豊岡市の食材で作った料理を提供する。
- ・記録集を作成し販売する。

(2) 事業期間

平成 23 年 5 月 15 日（日）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

7,094 千円 （平成 22 年度～平成 23 年度）

3 23 年度予算

(1) 予算額

6,506 千円

(2) 事業内容

2011 日本冒険フォーラムの開催

共 催 明治大学、明治大学創立 130 周年記念事業実行委員会

参加料 無料（入場整理券必要）

No.123 事業名 モンゴルとの交流	23年度 予算額	2,002 千円	新規 拡大 継続
----------------------------	-------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

モンゴル国との国際交流活動を定着化し、自然体験学習、ホームステイなどを通じ、両国の子どもたちが相互に異文化を理解し、尊重しあえる豊かな心を育てるとともに、国際化社会に対応した人材の育成を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・モンゴル国在住の中学生7名、引率者3名、計10名を、10月上旬に8日間招聘し研修を行う。
- ・市内中学校への体験入学、一般家庭へのホームステイを行う。また、世界に誇れるコウノトリ野生回帰への活動や山陰海岸など、特色ある豊岡市の取り組みを視察する。

(2) 事業期間

平成23年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

2,002千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成5年以降、豊岡市（旧但東町含む。）は、隔年でモンゴル国研修生の受入とモンゴル国への訪問を継続している。平成18年度以降は特に中学生を中心とした子供たちとの文化交流を推進している。

No.124	事業名	仲田光成記念全国かな書展 の開催	23年度 予算額	6,008 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

仲田光成記念全国かな書展は、平成 13 年度に第 1 回を開催し、平成 22 年度で第 10 回を迎えた。仲田光成氏は旧竹野町出身で、皇室の指導にも永く携わり、かな書道界で活躍され、多数作品を寄贈いただいている。

平成 12 年に「百壱歳の特別書展」を竹野町で開催いただくなど、地域の書道文化・教育の振興にご尽力いただいていたことを記念し、日本の伝統文化である書道を通して豊岡市の地域文化の高揚と地域外との交流を通じて、心豊かな地域づくりを全国に発信するため、同書展を開催する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①対 象 全国に募集し、応募制限なし
- ②部 門 幼年小学校低学年・中学年・高学年、中学生、高校生、一般の部を設ける。
- ③募集受付 作品募集 5月～ 作品受付 9月5日（月）～9日（金）
- ④審 査 9月 1次・2次審査
- ⑤賞 文部科学大臣賞、仲田光成記念賞、兵庫県知事賞、兵庫県教育委員会賞、神戸新聞社賞、但馬文化協会長賞、豊岡市長賞、豊岡市議会議長賞、豊岡市教育委員会賞、特選、入選（予定）
- ⑥応募実績 平成 22 年度実績 5,275 点 （26 都府県）
- ⑦展示実績 平成 22 年度実績 4,682 点
- ⑧展示会場 市立総合体育館
- ⑨展示入場者数 平成 22 年度実績 約 3,300 人

(2) 事業期間

- ①展 示 平成 23 年度予定 11月19日（土）～21日（月）
- ②表彰式 平成 23 年度予定 11月19日（土）

(3) 事業主体

豊岡市・豊岡全国かな書展実行委員会

3 23 年度予算

(1) 予算額

6,008 千円（出品料収入 2,307 千円見込み）

(2) 事業内容

平成 22 年度事業実績を基準に、4 月の実行委員会で詳細を決定する。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

暦・会場の都合により、平成 22 年度より展示期間を一日短縮して実施する。
22 年度の実績に基づき、作品規格を一部変更して募集予定である。

担当課名【竹野総合支所・地域振興課】（内線 5202）

No.125	事業名	東井義雄の心を伝える推進事業	23年度 予算額	439 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	----------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

教育者東井義雄の教育理念は、「子どもの感じ方、考え方、行い方」を、子どものいのちの具体的な表現ととらえ、そこに子どもの人間性や独自性を感じとらせ、この「子どもの感じ方、考え方、行い方」を磨き育てようとする考え方である。

この不易な教育理念を、現在の教育実践に生かしていくことを目的として実施するものである。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①「東井教育のこころに学ぶフォーラム」（平成23年度～平成24年度）

・教育実践の発表とフォーラムの実施

テーマ：東井教育のこころに学ぶ教育

内 容：教育実践の報告、ディスカッションなど

②「東井義雄の心を伝える」推進事業補助金（平成22年度～平成24年度）

・東井教育継承団体である「白もくれんの会」が実施する下記事業への補助金

「東井義雄教育」出前講座等

(2) 事業期間

平成22年度から平成24年度まで

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,723千円

3 23年度予算

(1) 予算額

439千円

(2) 事業内容

① 東井教育のこころに学ぶフォーラム 263千円

②「東井義雄の心を伝える」推進事業補助金 176千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

（平成22年度実施内容）

①「東井義雄教育」の研修 教育講演会の開催 市内教職員対象

② 白もくれん文庫 東井義雄の書籍を市内の小・中学校に配置。

担当課名 【東井義雄のこころに学ぶフォーラム こども教育課】（内線 2727）

【東井義雄の心を伝える推進事業補助金 文化振興課】（内線 2777）

No.126	事業名	加藤美代三画伯白寿記念展 覧会の開催	23年度 予算額	300 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	-----------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市出身の日本画家 加藤美代三画伯が白寿（99歳）を迎えられることを記念して展覧会を開催し、同画伯の歩みを顕彰する。開催に当たっては実行委員会形式として文化協会などと協働した事業展開を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

加藤美代三画伯から豊岡市へ寄贈された作品や、一般の方が所蔵されている作品を集め展覧会を開催する。

- ・開催場所 豊岡市総合体育館
- ・寄贈予定作品点数 約50点（F150号～F200号のものを含む）
- ・観覧料 無料

(2) 事業期間

平成23年10月

(3) 事業主体

加藤美代三白寿展実行委員会

3 23年度予算

(1) 予算額

300千円（実行委員会補助金）

(2) 事業内容

展覧会の開催（3日間程度）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

加藤美代三画伯 略年譜

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| 1912年（明治45年） | 兵庫県豊岡市に生まれる。 |
| 1931年（昭和6年） | 第十二回帝展に初入選。 |
| 1932年（昭和7年） | 京都市立美術工芸学校を経て、京都市立絵画専門学校を卒業。 |
| 1951年（昭和26年） | 第7回日展で白寿賞を受賞。 |
| 1952年（昭和27年） | 第8回日展で特選・朝倉賞を受賞。 |
| 1955年（昭和30年） | 日展出品委嘱（以後十回以上）。京都秀作美術展出品。 |
| 1994年（平成6年） | 出雲大社京都分院客殿に作品納入。 |
| 1995年（平成7年） | 京都高島屋・東京松屋銀座・豊岡市で個展開催。 |
| 1998年（平成10年） | 京都画壇日本画秀作展に招待出品。 |
| 2001年（平成13年） | 紺綬褒章受章。 |
| 2008年（平成20年） | 奈良県立万葉文化館で個展開催。 |
| 2010年（平成22年） | じばさん TAJIMA で「郷土の日本画家 加藤美代三展」を開催。 |
| 2011年（平成23年） | 豊岡市公益功労者表彰を受ける。 |

※平成12年に41点、平成22年に25点豊岡市へ作品を寄贈。

担当課名【文化振興課】（内線 2771）

No.127 事業名 文化財保護事業	23年度 予算額	2,495 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国民共有の財産である文化財の保護を図るために、指定文化財の保存修理を行うとともに、保存整備のための基礎調査を実施する。また、保存修理・保存整備を行うことによって文化財的価値が保全され、広く活用に資することが可能になる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①雷神社本殿保存修理（県費補助）
- ②出石城跡石垣の現状調査
- ③民具等を収蔵している施設（旧森本中学校冬季宿舎）の修繕

(2) 事業期間

- ①平成 22 年度～平成 23 年度
- ②③平成 23 年度

(3) 事業主体

- ①保存修理事業主体は所有者である（宗）雷神社
- ②③豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

- ①11,757 千円（県 1/3・市 1/3・所有者 1/3）
- ②300 千円
- ③250 千円

3 23 年度予算

(1) 予算額

- ①雷神社本殿保存修理補助金 1,945 千円
- ②出石城跡石垣現状調査委託料 300 千円
- ③文化財調査事務所(旧森本中学校冬季宿舎)の修繕料 250 千円

(2) 事業内容

- ①県指定文化財（建造物）である雷神社本殿の桧皮葺屋根葺き替えにかかる費用に対し、市は補助を行う。
- ②市指定史跡である出石城跡は石垣の孕みが著しく、危険性が高いため現状調査を実施し、今後の整備検討の基礎資料とする。
- ③市が所蔵する民具を収蔵している施設の修繕をする。

担当課名【文化振興課】（内線 2773）